

小諸市総合計画審議会 作業部会「地方創生関連交付金事業ヒアリング」報告

実施日時：平成30年10月2日（火） 午後1時30分～3時30分

参加委員：西村会長、佐藤（重）委員、花岡委員、黒澤委員

(1) 日本版DMO「こもろ観光局」を核としてオール小諸で取り組む観光地域づくりプロジェクト（DMO構築による山岳高原観光推進事業）

【課題】

- ・観光局が自立をめざして活動するためのプロパー職員の人材確保と、質の向上。
- （ マンパワー不足解消の対応として、平成30年度契約職員2名分雇用のための予算及び市職員1名の派遣を実施したが課題は解消されていない。観光局の自立について、先行きが不透明で、プロパー職員を採用したいができない。
- ・5年後に「自立」というゴールだけが決まっているが、「自立」とはどのような状態なのかは決まっていない。また「自立」のための経済的基盤がない。
- ・観光による地域づくりをめざすという点において、既に市役所で地域職員連絡会が組織されており、観光局による地域づくりは後発のため、取組みが難しく、また予算付けについても同様である。

【意見等】

- ・観光は、小諸のまちづくりの大きなファクターであり、そこへ多額な投資をできることは大きなチャンスだが、昨年同様、5年後どうなっているのかが見えてこない。
- ・「自立」はどのような状態なのか、どうしていくのかのそれぞれの認識がバラバラである。関係者全員で確認を行い、共通の目標の達成に、それぞれの役割を果たせるようにする必要はある。
- ・市の方針、考え方について、観光局理事会において説明を行い理解を求めるのがよい。観光局事業は片手間にできるものではなく、市長、副市長の役割は大きい。
- ・1年半が経過し、残り交付期間が3年半となったが、昨年度から課題が変わっていない。この機会を活かさないことには大変もったいないので、市からもう1名派遣を行う等交付期間中は選択と集中の実施により、至急、事業の推進体制を整備し、来年度に同じ課題を送らないような対応が必要である。

(2) 有害鳥獣（シカ）商品化施設運営事業

【課題】

- ・シカの精肉の売却先について、事業者には仲介してもらっているが、売却量は進んでいない。
- ・他市町村からのシカの受け入れは有料で実施しているが、無料で受入するよう要望する市町村があり、シカの確保のため無料とした場合には公平性に課題がある。
- ・販路拡大が大きな課題である。
- ・希望小売価格の 7 掛けで卸しているが、卸値の 2 倍で売る業者もある。地方公共団体として、価格の設定が難しい。
- ・利益率が高い商品化した（ジャーキーなど）ものについて、販売数が伸びない。
- ・インターネット販売を行いたいと考えているが、直接運営するか、委託をするか、また、口座開設の問題があり踏み切れない。
- ・受入頭数を大きく増やした月でも、黒字化にはならず、適量の取扱いが難しい。
- ・なるべく早く黒字化し安定経営となった状態で事業を移譲したい。

【意見等】

- ・インターネット販売の委託実施について運営面でのメリットはあるが、取扱量の関係、またインターネットバンキングでも口座開設は必要であり様々な面から検討を。
- ・ジビエ料理に力を入れ（駅前等にジビエ料理をふるまう店を出すとか）、付加価値をつけて事業を展開しないと採算確保が厳しいのでは。
- ・観光局での取扱いなどについても今後検討を。
- ・事業は順調にすすんでいるようであるが、コンサルタントによく相談し、今後の事業移譲を円滑にできるよう進めてもらいたい。